TYPE OF INDUSTRY

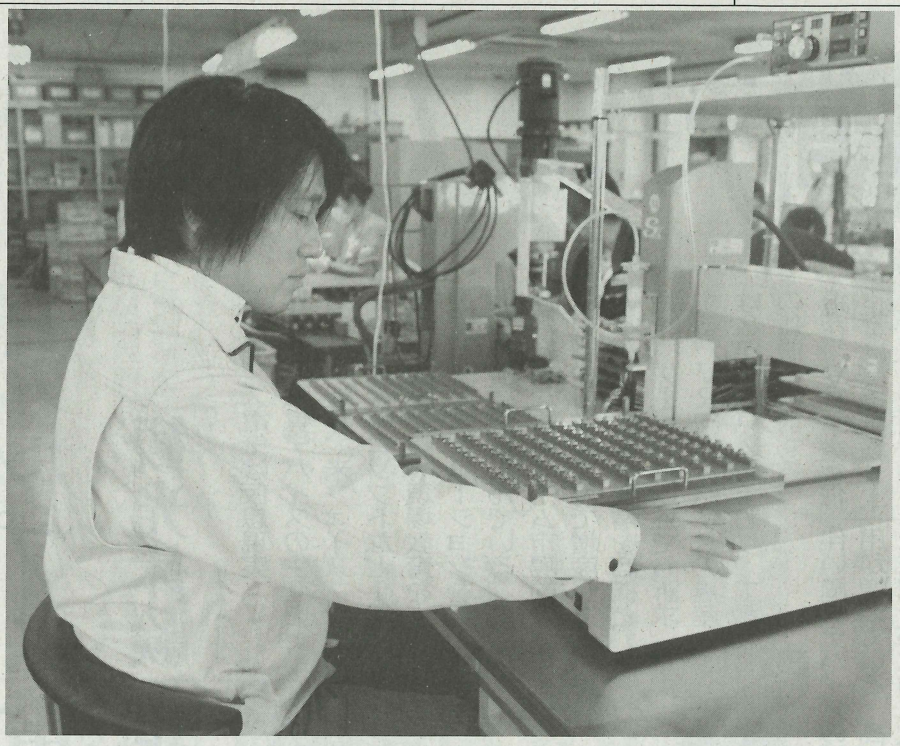
機械・航空機

刊） 昭和15年8月17日第3種郵便物認可

日刊 THE NIKKAN 工業 KOGYO SHIMBUN 新聞

10月20日金曜日

2017年（平成29年）



グリスの自動塗布機を操作する鈴木社長

発見！先進の現場 ▷25

オースズ

機構部品・トルクヒンジ

手作業工程に自動塗布機導入

オースズ（横浜市港北区、鈴木瑞貴社長、045・592・4511）は、機構部品やトルクヒンジの設計から試作、量産を本社工場で一貫して手がける。3年前から機械による自動化を進め、生産性向上につなげている。

また、女子更衣室のリニューアルや時短勤務のパート女性を増やすなど働きやすい環境にも配慮している。

トルクヒンジは、回転軸にトルクを持たせた機構部品。最近では、液晶モニターや操作パネルなど、付加価値の高い産業機器や医療機器向けが増えている。摩擦によってトルクを出すため、どういう硬度の素材を摩擦させるか、どのグリスを塗って耐久性を高めるかが肝要だ。

グリスの自動塗布機を導入し、これまで人手で作業していた工程を自動化。作業時間は10分の1以下まで減った。また、最適な量を定量塗布できるようになり、品質の安定化にもつながっている。鈴木社長は「大規模な設備投資を必要とする大がかりな仕組みの構築ではなく、身の丈に合った自動化を進め、改善を積み重ねることが大切だ」と話す。

自動塗布機に乗せる治具も自社で設計製作する。機構設計部門を持つ強みを生かして、製品の設計段階から生産治具との兼ね合いを考えて、生産しやすい設計を行っている。

生産性向上委員会と品質向上委員会を設置し、人材育成にも力をいれる。月に1回ずつ会議を行い、トップダウンではなく各自がテーマを持ち寄る。自分で課題をみつけていつまでに解決するかを発表する。

鈴木社長は「受け身ではなく自分で考えることが大切。求められる企業であり続けるためには、現状に満足することなく常に成長しないといけない」と強調する。

（高島里沙）

（金曜日に掲載）

TODAY

28 深層断面

リチウム電池ー安全対策

ソニーが世界で初めて商品化してから26年。リチウムイオン電池の存在感は増している。用途拡大、高性能化の一方で発火事故といった「負の側面」も。事故の原因を分析しながら、安全性を検証する。

（モバイルバッテリーの事故品）

06 NTN、燃費10%改善 モーター付きハブベアリング

07 物流ロボ、中国から受注 MUJIN、ネット通販大手向け

09 動力不要、5秒で水平 計装サービス、海上コンテナ

10 VR向け触覚デバイス生産 アルプス電気、観光体験で需要増

11 防災拠点にWi-Fi JCOM、自治体に提案